

環境振動運営委員会 議事録

A. 日 時 2012年11月26日 月曜日 17:30~19:30

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査 他9名

D. 提出資料(提出委員名)

No.4-1 前回議事録案

No.4-2 2012年度第3回環境工学委員会議題

No.4-3 東日本大震災合同報告書目次案

No.4-4 環境振動評価小委員会活動報告

No.4-5 環境振動制御技術小委員会活動報告

No.4-6 環境振動測定分析小委員会活動報告

No.4-7 環境振動シンポジウム企画運営WG活動報告

No.4-6 環境振動シンポジウム実施計画書

E. 議事内容

O. 前回議事録確認(資料No.4-1)

・3. [審議事項]

2(1)委員推薦卒業論文 次は光,水から → 卒業論文等顕彰事業委員の推薦 次は光環境、水環境運営委員会から

2(2)震災シンポ実行委員 都市環境から住宅から → 震災シンポ実行委員 震災対応都市環境WG、同住宅・建築環境WGから1名推薦
上記修正を行うことで、了承された。

1. 環境工学本委員会報告

○2012年度第3回環境工学委員会 2012年11月6日開催(資料No.4-2)

1. 前回議事録の確認

2. 報告事項

(2) 学術推進委員会における予算配分方法の見直し案について。 → 〆切 11/10
予算配分ありきの感があり、一律1割減の予算案が示された。

(3) 学会活動と著作物、著作者名の表記のあり方について → 〆切 12/21
執筆者には十分な理解を持っていただく。

3. 審議事項

(1) 業績候補推薦

a) 大賞候補業績 → 〆切 1/18 (メール審議)

b) 文化賞業績候補 → 〆切 12/14 : 候補者ナシ

c) 学会賞。(論文部会)選考委員会委員候補 → 〆切 3/1 今回1名推薦(設備)から。

d) 奨励賞選考委員会委員候補。 → 〆切 3/1 (設備、水)から。

(2) 2013年度大会(北海道)

a) 研究協議会 → 〆切 11/15 書式提出

c) 細分類・細細分類の変更 → 〆切 11/19

d) オーガナイズドセッション → 〆切 11/14

次回、2/19 は環境工学本委員会委員長選挙があるので、主査は出席してくださいとのこと。

内規5. 第1回目の投票は、被選挙権を有する者すべてを対象として実施する。

→被選挙人の意思確認を行ってはどうかという意見有り。

3. 東日本大震災合同報告書目次案（資料 No.4-3）

7章「震災に伴う行動と心理」は資料が少ないため、項目を減らした。環境振動としてはこの賞が適切なため、環境振動運営委員会としてこの章を分担する。

- 委員より「7.1 概要」、「7.2 節電意識、行動」の前に、「震動中およびその直後の行動」というような内容の節を入れたらどうかの提案があった。
- 地震酔いとかどうか。揺れ感が残るとか。竹中に研究者がいる。(女性)
- 委員からそれに類する資料を幹事に送付する。
- 主査よりメールにて、高層ビルでの地震時の行動に関する研究例の文献提示があり。

○肥田剛典, 永野正行: アンケート調査に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震時の超高層集合住宅の揺れと被害, 日本建築学会技術報告集, 第 18 巻, 第 39 号, pp.579-584, 2012 年 6 月

○肥田剛典, 永野正行: アンケート調査と強震記録に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震時における超高層集合住宅の室内被害—不安度と行動難度および家具の転倒率の検討—日本建築学会構造系論文集, 第 77 巻, 第 677 号, pp.1065-1072, 2012 年 7 月

4. 各小委員会・WG 活動報告

4-1. 評価小委員会（資料 No.4-4）

- ・08/23 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・次年度以降、主査を交代し小委員会名を引き継ぎこととなった。幹事はそのまま引き継ぐ。
- ・次回は「要望と提案」のまとめ方を検討する。
- ・環境振動シンポジウムに広域計測 WT、説明性 WT など、本小委員会での検討内容を発表可能。

4-2. 制御小委員会（資料 No.4-5）

- ・10/10 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・今までの資料を、結果をまとめ、委員会報告としてまとめる。
- ・次年度以降、主査を交代し環境振動予測解析小委員会(仮名)とする。
- ・「ブラインド解析」におけるバラつきを無くすように、パラメータを合わせ込んだものとの比較を学会大会に発表予定。

4-3. 測定分析小委員会（資料 No.4-6）

- ・09/27 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・環境振動測定方法に関するアンケート調査結果は、29 名の返信があり 40 件のサンプルが集まった。今後は解析した結果を機会をとらえて発表していく。

5. 「環境振動シンポジウム企画運営 WG」（資料 No.4-7, 4-8）

- ・11/15 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・決定案は「住まいに入り込む環境振動」となった。
- ・司会：益田 勲（日本交通技術（株）） 記録 鈴木健司（清水建設）
- 13:30～13:45 主旨説明「住まいに入り込む環境振動」 横山 裕（東京工業大学）
- 13:45～14:15 住まい周辺の振動環境の把握 濱本 卓司（東京都市大学）
- 14:15～14:45 振動防止行政の現状と課題（道路交通振動） 稲井 康弘（環境省）
- 14:45～15:15 建物振動の実測例 平尾 善裕（小林理研）

15:15～15:25 — 休憩 —

15:25～15:55 戸建て住宅における環境振動対策事例 川本 聖一（三菱地所ホーム）

15:55～16:25 住まいと環境振動の関わり 後藤 剛史（法政大学）

16:25～16:55 住まいの環境振動の見える化 小泉 達也（大林組）

16:55～17:05 — 休憩 —

17:05～17:50 PD「住まいに入り込む環境振動」

司会：松本 泰尚（埼玉大学） 横山裕，濱本卓司，後藤剛史，稲井康弘，
平尾善裕，川本聖一，小泉達也

17:50～18:00 まとめ 国松 直（独）産業技術総合研究所）

- ・シンポジウムの講師と内容、講演名の摺合せを行った。
- ・講演集の冊子巻末に、WG、小委員会の調書、アンケート用紙を添付し、まとめで国松委員が協力要請を行う。
- ・学生の参加費を 1500 円から 1000 円に下げ参画を促す。
- ・講演要旨は、環境振動運営委員会委員長、幹事他、事務局に送付、期限は 6. を参照。

6. その他

一年間開催予定

1 回目 2012 年 04 月 16 日（月） 17：30～20:00

2012 年 06 月 22 日（金）環境振動シンポジウム企画検討 WG

2 回目 2012 年 07 月 02 日（月） 17：30～19:30

3 回目 2012 年 09 月 24 日（月） 17：30～

2012 年 11 月 15 日（木）環境振動シンポジウム企画検討 WG

4 回目 2012 年 11 月 26 日（月） 17：30～

2012 年 12 月 21 日（金）環境振動シンポジウム原稿締め切り

5 回目 2013 年 01 月 25 日（金） 10：30～

同日 第 31 回環境振動シンポジウム 13：00～

以上